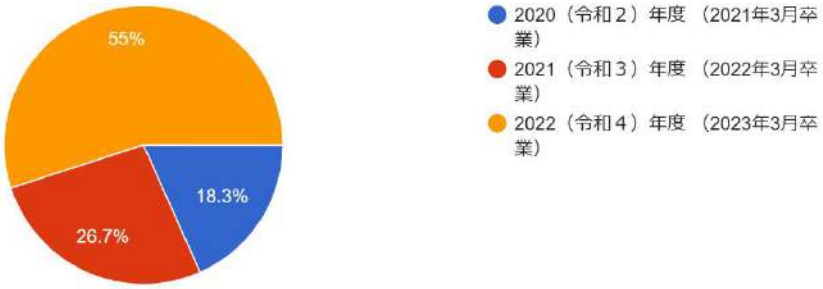
2023 年度　札幌大谷大学
卒業生のキャリア・就職等に関するアンケート（芸術学部・社会学部）
結果報告

調査対象　　2020（令和２）年度～2022（令和４）年度卒業生
実施目的　　卒業後のキャリアや在学中の学修経験に関するアンケートを実施し、本学の教育プログラム及びキャリア支援の改善と充実を目的とする。
調査時期　　2023 年９月１日（金）～９月 29 日（金）
調査方法　　WEB アンケート（メール・郵送による告知）
回答数・回答率　　60 件／442 件＝13.6%

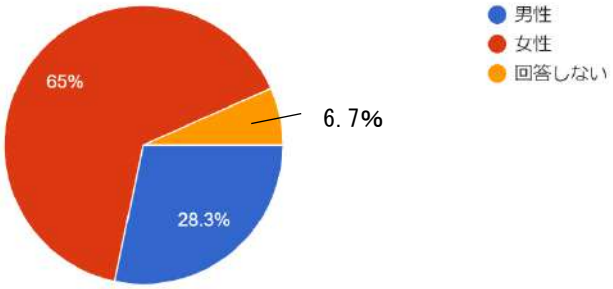
【回答者の属性】

○ 卒業年度
60 件の回答



卒　業　年　度	回答数
2020（令和２）年度　（2021 年３月卒業）	11
2021（令和３）年度　（2022 年３月卒業）	16
2022（令和４）年度　（2023 年３月卒業）	33

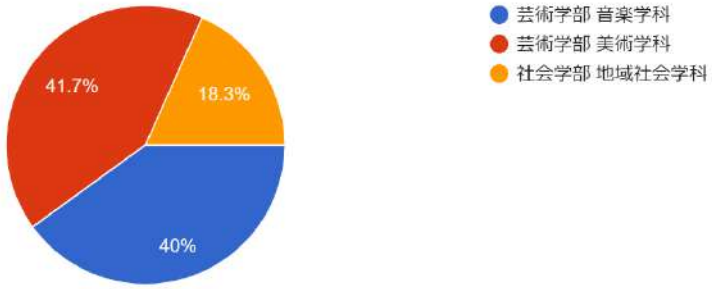
○ 性別
60 件の回答



性　　別	回答数
男性	17
女性	39
回答しない	4

○ 卒業した学部・学科

60 件の回答



学部・学科	回答数
芸術学部 音楽学科	24
芸術学部 美術学科	25
社会学部 地域社会学科	11

○ 音楽学科・美術学科の卒業時のコース内訳

43 件の回答

音楽学科　（人）

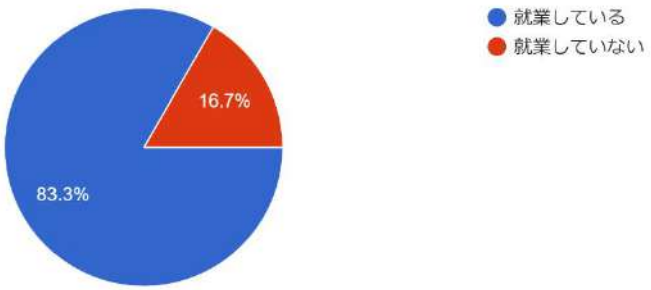
ピアノ	5
声楽	3
管弦打楽	9
音楽療法	2
音楽総合	2
音楽指導	1

美術学科　（人）

メディア表現領域	15
造形表現領域	6

【問１】現在の就業状況

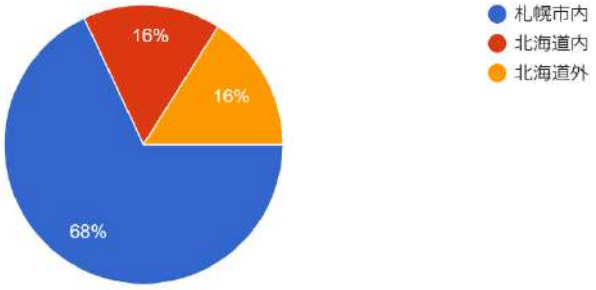
60 件の回答



現在の就業状況	回答数
就業している	50
就業していない	10

【問２】現在就業している人の勤務地

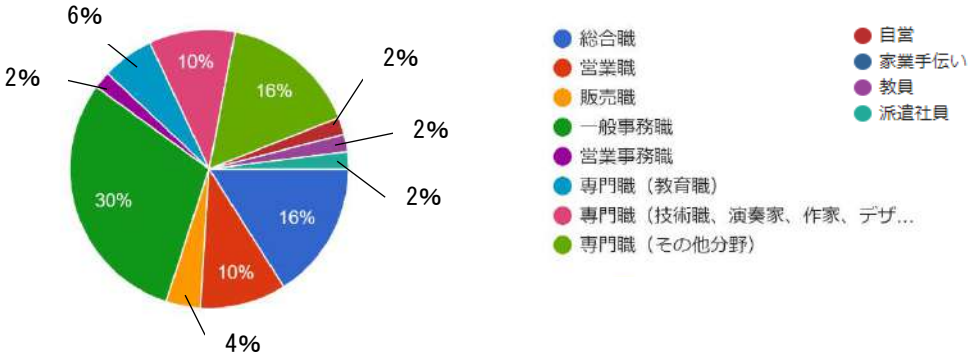
50 件の回答



現在の勤務地	回答数
札幌市内	34
北海道内	8
北海道外	8

【問３】現在の仕事（職種）

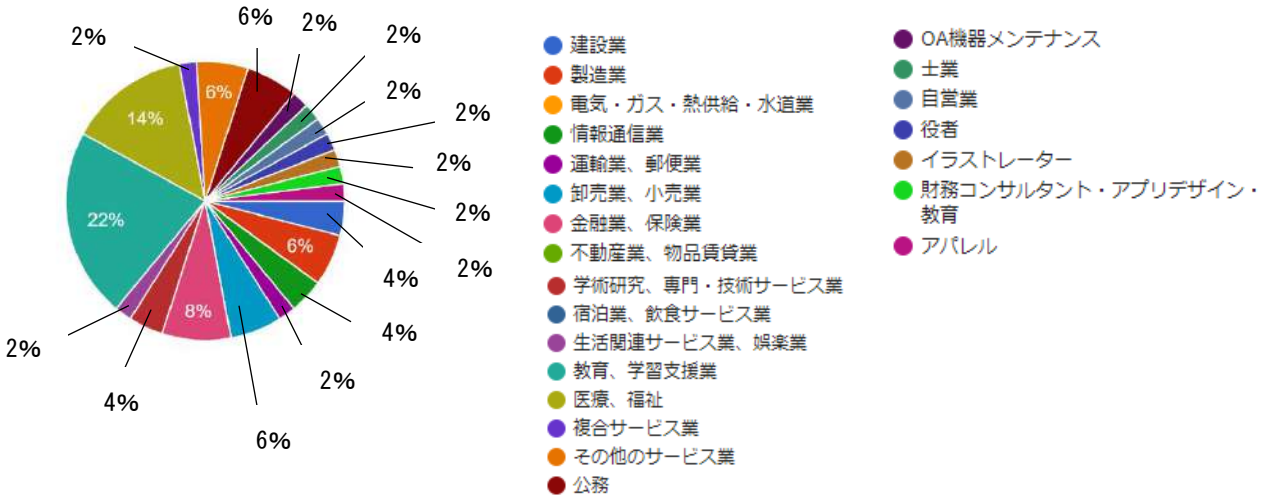
50 件の回答



職　　種	回答数
総合職	8
営業職	5
販売職	2
一般事務職	15
営業事務職	1
専門職（教育職）	3
専門職（技術職、演奏家、作家、デザイナーなど）	5
専門職（その他分野）	8
教員	1
派遣社員	1
自営	1

【問４】現在就いている仕事（業種）

50 件の回答



業　　種	回答数
建設業	2
製造業	3
情報通信業	2
運輸業、郵便業	1
卸売業、小売業	3
金融業、保険業	4
学術研究、専門・技術サービス業	2
生活関連サービス業、娯楽業	1
教育、学習支援業	11
医療、福祉	7
複合サービス業	1
その他のサービス業	3
公務	3
アパレル	1
イラストレーター	1
OA 機器メンテナンス	1
財務コンサルタント・アプリデザイン・教育	1
士業	1
自営業	1
役者	1

【問５】勤務先名及び所属部課

（省略）

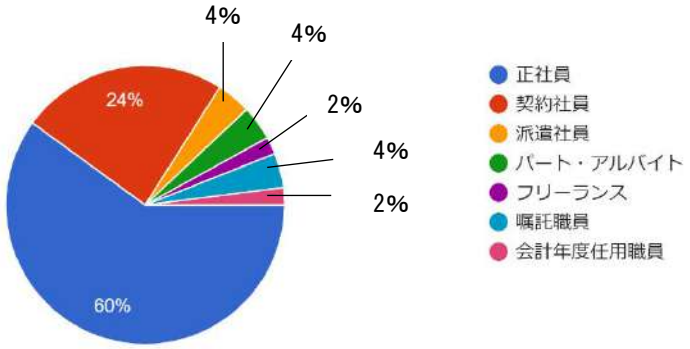
【問６】現在の勤務先の勤続年数

50 件の回答

勤　続　年　数	回答数
６カ月以内	27
～１年	2
～１年半	9
～２年	1
～２年半	7
～３年	2
その他	2

【問７】雇用形態

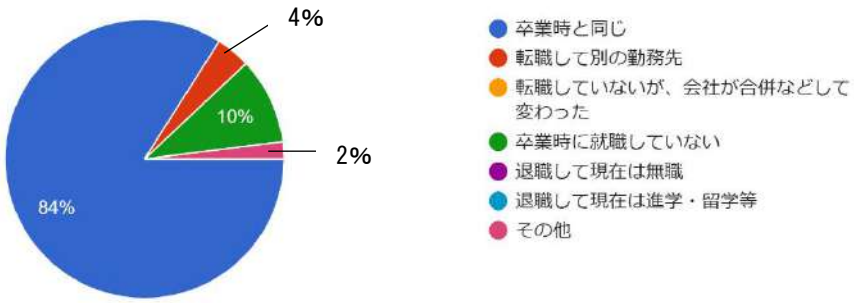
50 件の回答



雇　用　形　態	回答数
正社員	30
契約社員	12
派遣社員	2
パート・アルバイト	2
フリーランス	1
嘱託職員	2
会計年度任用職員	1

【問８】卒業時の勤務先と現在の勤務先との関係

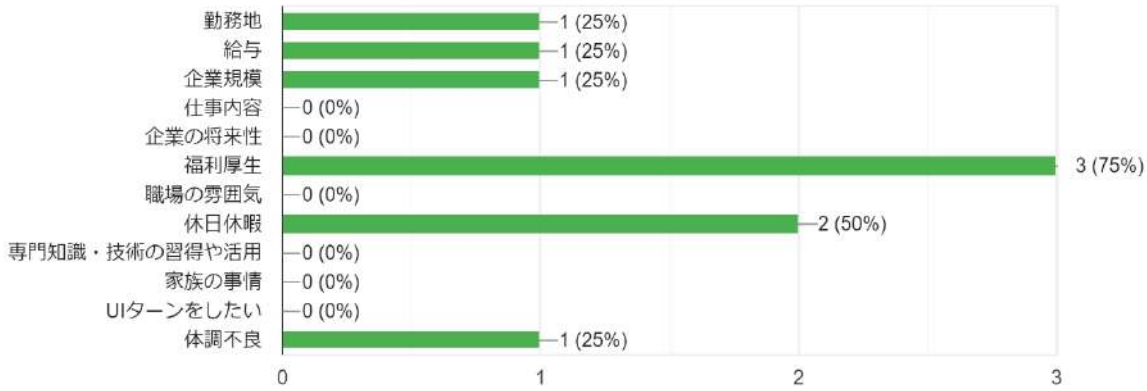
50 件の回答



卒業時の勤務先と現在の勤務先	回答数
卒業時と同じ	42
転職して別の勤務先	2
卒業時に就職していない	5
その他	1

【問９】転職した人の転職・退職理由（複数回答）

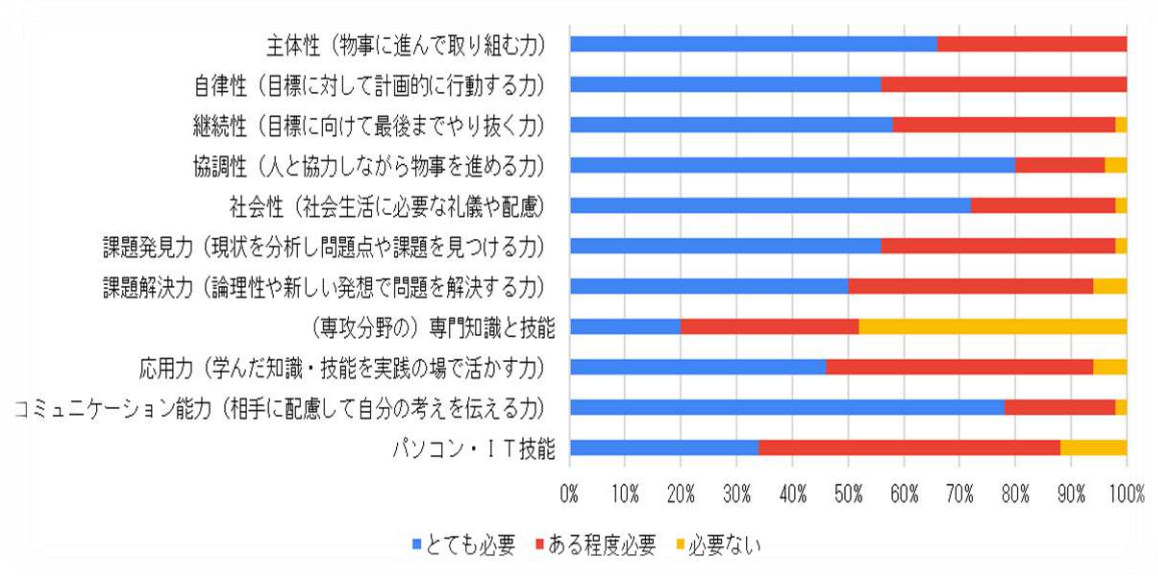
４件の回答



転職した人の転職・退職理由	回答数
体調不良	1
勤務地	1
福利厚生	3
給与	1
企業規模	1
休日休暇	2

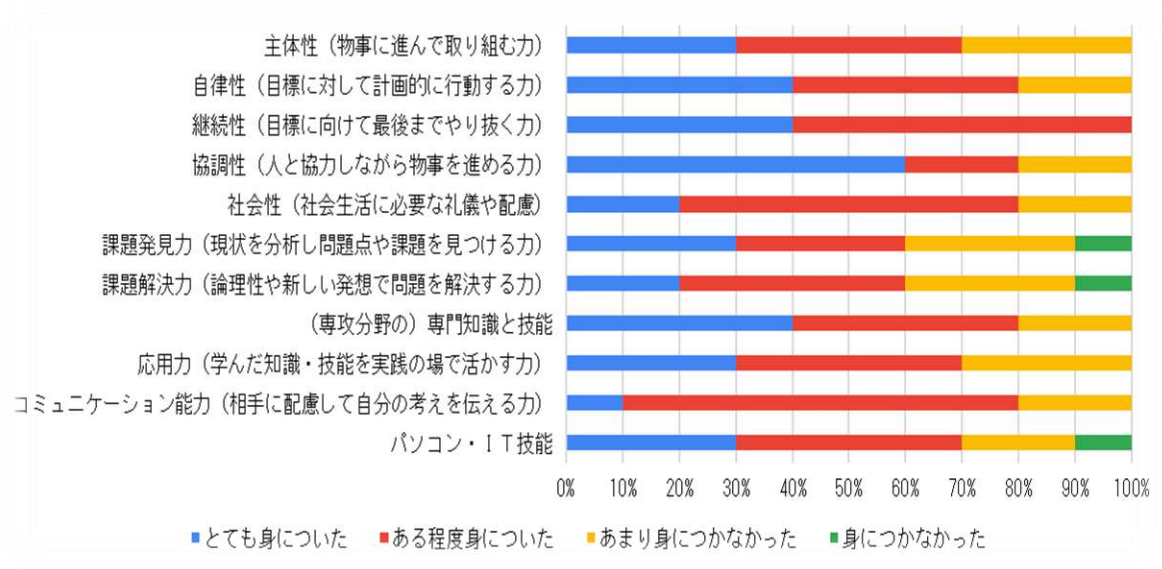
【問 10】現在の仕事において、必要とされる能力・資質

50 件の回答



現在の仕事において必要とされる能力・資質	とても必要	ある程度必要	必要ない
主体性（物事に進んで取り組む力）	33	17	0
自律性（目標に対して計画的に行動する力）	28	22	0
継続性（目標に向けて最後までやり抜く力）	29	20	1
協調性（人と協力しながら物事を進める力）	40	8	2
社会性（社会生活に必要な礼儀や配慮）	36	13	1
課題発見力（現状を分析し問題点や課題を見つける力）	28	21	1
課題解決力（論理性や新しい発想で問題を解決する力）	25	22	3
（専攻分野の）専門知識と技能	10	16	24
応用力（学んだ知識・技能を実践の場で活かす力）	23	24	3
ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力（相手に配慮して自分の考えを伝える力）	39	10	1
パソコン・ＩＴ技能	17	27	6

【問 11】在学中の学びや経験から身についた力（就業していない人）
10 件の回答

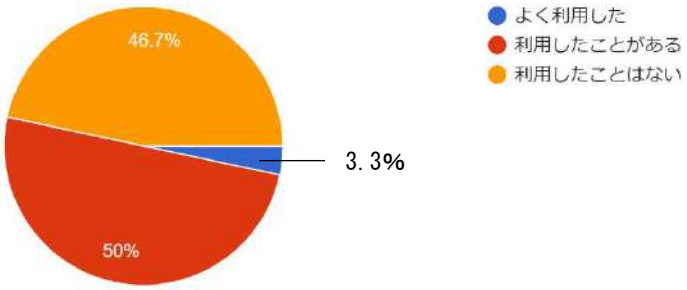


在学中の学びや経験から身についた力	とても身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	身につかなかった
主体性（物事に進んで取り組む力）	3	4	3	0
自律性（目標に対して計画的に行動する力）	4	4	2	0
継続性（目標に向けて最後までやり抜く力）	4	6	0	0
協調性（人と協力しながら物事を進める力）	6	2	2	0
社会性（社会生活に必要な礼儀や配慮）	2	6	2	0
課題発見力（現状を分析し問題点や課題を見つける力）	3	3	3	1
課題解決力（論理性や新しい発想で問題を解決する力）	2	4	3	1
（専攻分野の）専門知識と技能	4	4	2	0
応用力（学んだ知識・技能を実践の場で活かす力）	3	4	3	0
ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力（相手に配慮して自分の考えを伝える力）	1	7	2	0
パソコン・ＩＴ技能	3	4	2	1

【問 12】社会に出てみて、学生時代にもっと強化しておけばよかったと思う力
（複数回答）
60 件の回答

項　　目		回答数
主体性（物事に進んで取り組む力）		17
自律性（目標に対して計画的に行動する力）		15
継続性（目標に向けて最後までやり抜く力）		９
協調性（人と協力しながら物事を進める力）		16
社会性（社会生活に必要な礼儀や配慮）		19
課題発見力（現状を分析し問題点や課題を見つける力）		16
課題解決力（論理性や新しい発想で問題を解決する力）		13
（専攻分野の）専門知識・技能		14
応用力（学んだ知識・技能を実践の場で活かす力）		８
コミュニケーション能力（相手に配慮して自分の考えを伝える力）		21
パソコン・ＩＴ技能		24
その他（自由記述）	対人関係の苦手意識	1
	勉学に対する意欲や、学ぶ姿勢	1
	ゲーム依存から抜け出す	1
	自主的に大学外の人ともっと関わっておけばよかった	1

【問 13】就職活動時のキャリア支援センターの利用頻度
60 件の回答



利　用　頻　度	回答数
よく利用した	２
利用したことがある	30
利用したことはない	28

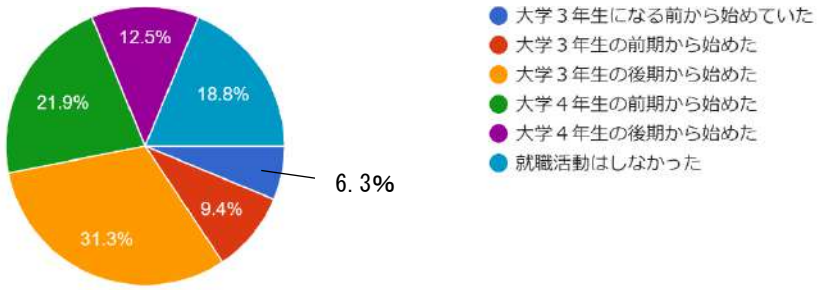
【問 14】利用した理由（複数回答）

32 件の回答

項　　目		回答数
進路や就職について相談した		20
面接の練習をしてもらった		14
履歴書や書類の書き方の指導を受けた		14
資格取得の支援を受けた		2
就職対策講座やガイダンスに参加した		8
求人関係の資料を閲覧した		8
その他（自由記述）	就職先が特殊だった為、確認をして頂いた	1
	卒業予定証明書と成績表を貰いに行った	1

【問 15】就職活動開始時期

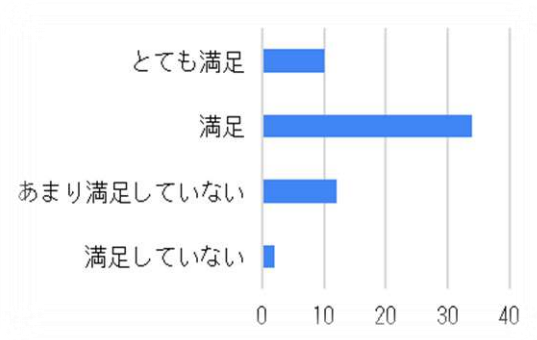
32 件の回答



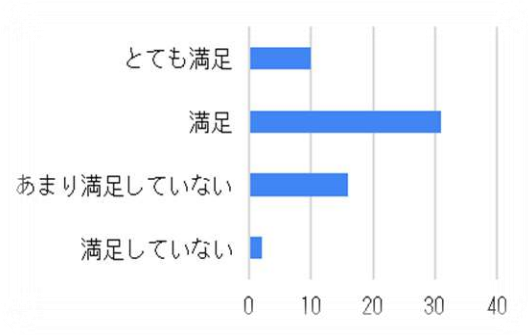
就職活動開始時期	回答数
大学３年生になる前から始めていた	2
大学３年生の前期から始めた	3
大学３年生の後期から始めた	10
大学４年生の前期から始めた	7
大学４年生の後期から始めた	4
就職活動はしなかった	6

【問 16】現在の仕事満足度と生活満足度

（１）仕事満足度（58 件の回答）



（２）生活満足度（59 件の回答）



仕事満足度	回答数
とても満足	10
満足	34
あまり満足していない	12
満足していない	2

生活満足度	回答数
とても満足	10
満足	31
あまり満足していない	16
満足していない	2

【問 17】大学の就職・キャリア支援として受けたかった教育サービスや、後輩へのアドバイス等

（省略）

【結果の考察】

卒業生のキャリア・就職等に関するアンケートの結果から、教育成果の検証とキャリア支援の改善と充実のための検討を行った。

「現在の仕事において、必要とされる能力・資質」という質問において、社会に出てから主体性、協調性、コミュニケーション能力が必要だという回答が多かった。そのためコミュニケーション能力と協調性の向上には演習のみならず講義においてもアクティブラーニングを積極的に導入し、日常的なコミュニケーションスキルの上達を図ることが必要である。また、「社会に出てみて、学生時代にもっと強化しておけばよかったと思う力」としてパソコンスキル・IT 技能と回答した人が多く、事務的な能力が不十分だと感じていることが分かった。入学時のノートパソコンの所持化や演習での利用を推進することや、PC 関連や DX アドバイザー資格等を積極的に取得する仕組み作りを行っていく。

キャリア支援センターを利用したことがないという回答が半数だったことについて、情報は自分で探すため利用しなくても良いという学生もいるが、インターネット等で情報を探すだけでは偏った思い込みになることがあるため、キャリア支援センターで学習させる必要があると考えている。活用促進のために各教員が学生をキャリア支援センターに繋げ

ていく事がとても重要である。また、自由記述の回答に「教員が就職に対して放任主義である」という意見から、教員全体に就職活動の重要性を伝える方法を考えたい。

最後に、アンケート回答率の改善方法を検討していく必要がある。在学中から就職に関する経験や実感を後輩に伝えることの重要性を伝え、仕組み作りを構築していくことが重要である。

※個人情報を含むもの、自由記述につきましては割愛しております。

以　上